

## ハウレンソウにより会社を伸ばす ～合同社員研修会を開催～



講師の加藤特定社会保険労務士

「学ぶ～コミュニケーションの基本に立ち戻って～」をテーマとした合同社員研修会を開催し、会員企業の社員106名が参加した。

研修会では、加藤先生から報告・連絡・相談（以下、ハウレンソウ）の基本・原則、管理職から見たホ

協同組合ハイコープ山梨地区本部（太田丈三地区本部長 組合員23社）は、6月12日に、加藤里美特定社会保険労務士（ファーストブレイン株）を講師に、「報・連・相について

ウレンソウ、情報伝達の方法について講習を受けた後、6名ずつのグループに分かれてのビジネスゲームを行い、同じ説明を受けても個人ごとに解釈・理解などに違いが出ることでハウレンソウの難しさや大切さを学んだ。

加藤先生は、「ハウレンソウのできる人になる、できる人を育てることは、チーム力アップにつながる。円滑なハウレンソウは、業務の効率化、品質向上を生み、生産性の向上につながるので、企業力アップのために是非継続的に取り組んでいただきたい。」と述べた。

太田本部長は、「企業活動の中でコミュニケーションは重要であり、報告・連絡・相談は基本であるが、日頃なかなかできていない。社員ひとりひとりが研修会で学んだことを振り返り、日々の行動改善の



グループワークでのディスカッション

きっかけにしていただけければと思う。各社単独では行えない社員研修を組合事業として行うことで、会員企業の社員間の交流により新たな気づきや発想のヒントを生む場となることを期待している。」と会員企業の発展に期待を込めた。